

Speciality for Customer

PS - Innovation



**2014年3月期
第2四半期決算説明会**

2013年11月20日

株式会社プロシップ

代表取締役社長 今泉 智

JASDAQ
3763

会社概要

社名	株式会社プロシップ (JASDAQ市場 証券コード：3763)	
設立	1969年4月	沿革
資本金	431百万円	1969年4月
代表取締役	今泉 智	1978年6月
従業員数	209名(連結228名)	1980年3月
事業内容	パッケージシステム開発販売 受託開発 運用管理	1994年7月
グループ企業	プロシップフロンティア プロシップ大連 プロシップ上海	2000年1月
		2003年12月
		2005年3月
		2005年4月
		2006年5月
		2009年10月
		2010年11月
		2011年4月
		2011年10月
		2012年4月
		2013年4月

※2013年9月時点

目次

I 2014年3月期 第2四半期連結業績

II 2014年3月期 通期連結業績予想

I 2014年3月期 第2四半期連結業績

第2四半期決算ハイライト

売上高、経常利益ともに前年比で減収減益となった

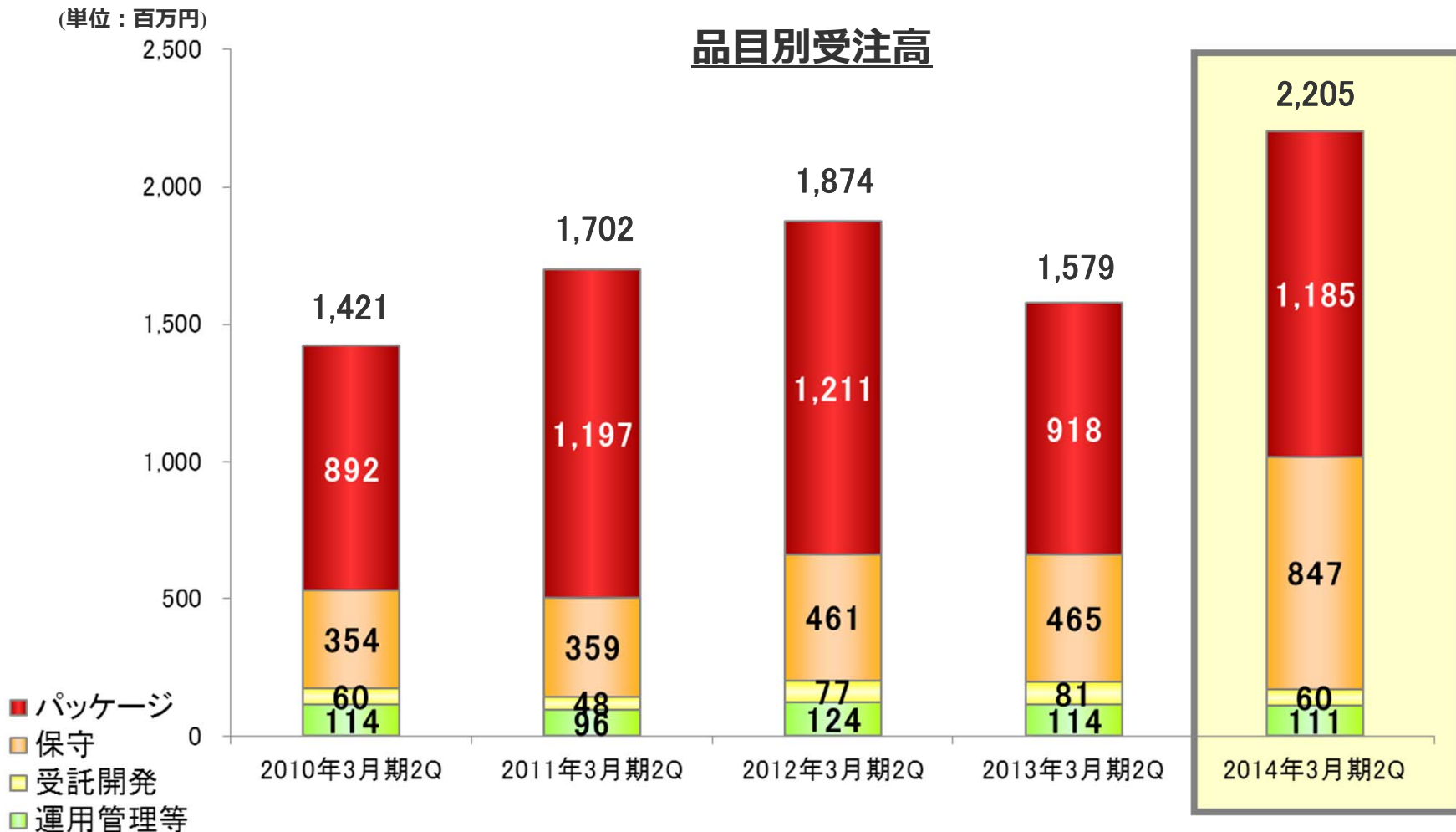
- 営業状況は活発化しつつも、第1四半期までの受注の遅れの影響により第2四半期までに売上高を挽回するに至らなかった
- 新ソリューション開発のために、積極的な研究開発を計画通りに実施したことから販売管理費は昨年と同水準となった

(単位：百万円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	1,686	1,498	▲ 188	▲ 11.2%
売上原価	703	678	▲ 24	▲ 3.5%
販売管理費	623	630	6	1.0%
営業利益	359	189	▲ 169	▲ 47.3%
経常利益	362	192	▲ 170	▲ 47.0%
経常利益率	21.5%	12.8%	-	-
四半期純利益	243	111	▲ 132	▲ 54.4%

品目別受注高の推移

- 受注高は回復基調にある
- 内訳ではストックである保守が順調に伸びる



品目別の受注売上状況

- パッケージ： 商談が活発化し、新規導入や既存顧客のバージョンアップの受注が伸びる
- 保守： パッケージ導入企業数増加及び長期保守契約の獲得により大幅に増加
- 受託開発： 新規の受託開発案件が減少
- 運用管理等： 顧客の予算動向から微減

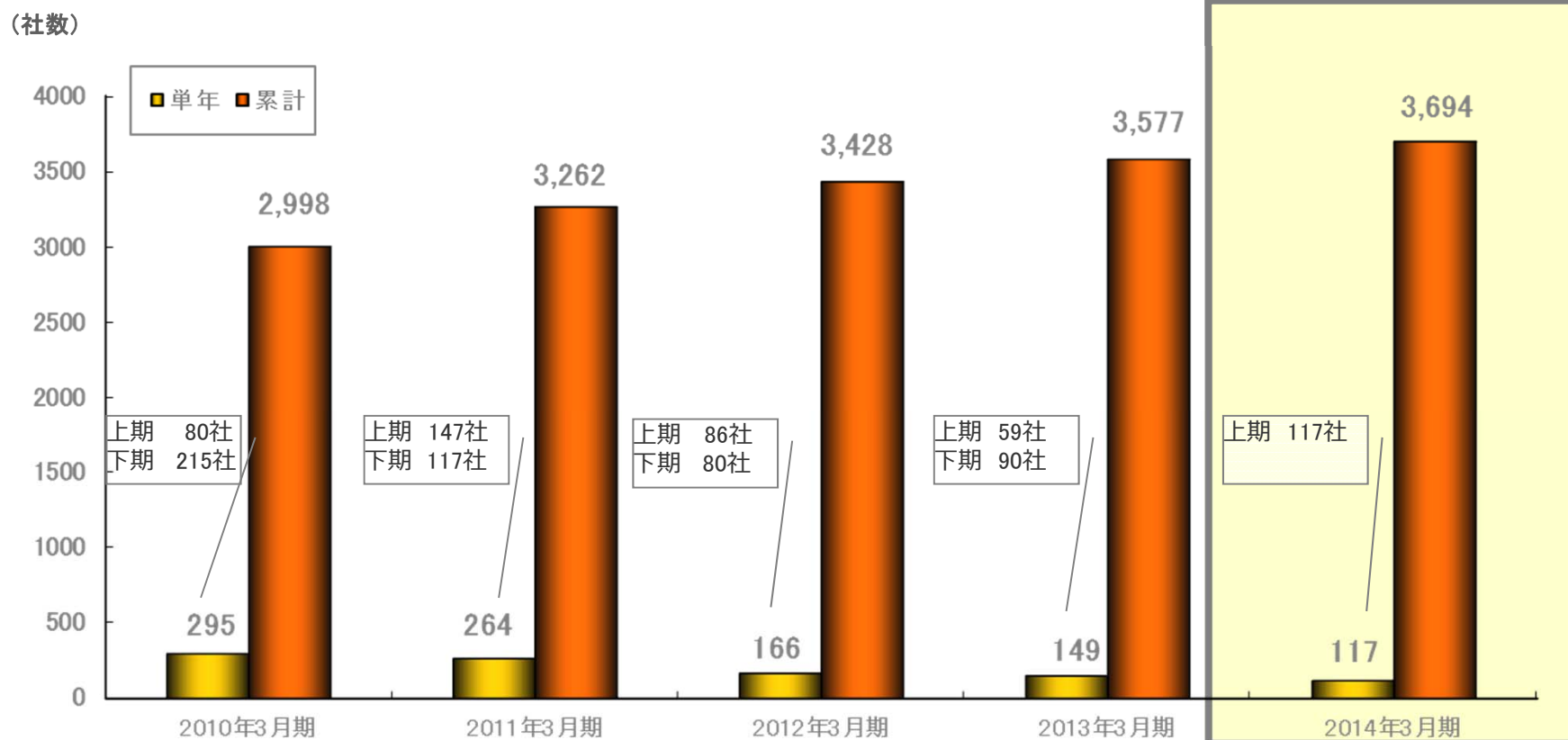
(単位：百万円)

2014年3月期 第2四半期						
	受注高	前年同期比	売上高	前年同期比	受注残高	前年同期比
パッケージ	1,185	29.1%	860	▲ 18.1%	810	23.2%
保守	847	82.0%	478	7.5%	1,366	61.2%
受託開発	60	▲ 25.3%	51	▲ 33.1%	28	▲ 4.3%
運用管理等	111	▲ 2.8%	106	▲ 5.6%	4	137.0%
合計	2,205	39.6%	1,498	▲ 11.2%	2,210	43.8%

ProPlus シリーズ導入実績社数

➤ 新規導入案件の増加により、導入社数は前年上期を底に増加傾向

ProPlus導入社数の推移



Ⅱ 2014年3月期 通期連結業績予想

当期の重点施策

- ◆ 新規顧客の拡大に向けた営業活動強化
- ◆ 既存顧客へ新バージョン展開
- ◆ グローバル対応の推進
- ◆ 販売管理ソリューションの拡販
- ◆ 顧客ニーズに応える新ソリューション開発

上期の取り組みの成果

◆ 過去最高の引合件数と受注量の増加

- ・ 主力の固定資産システムにおいて、新規受注及び既存顧客のバージョンアップ案件が増加
- ・ 中断していたIFRS対応の検討を再開する企業も出る等、引合いは好調であり、さらに積極的な営業提案で受注増加につなげていく

◆ 新ソリューションのリリースと拡販

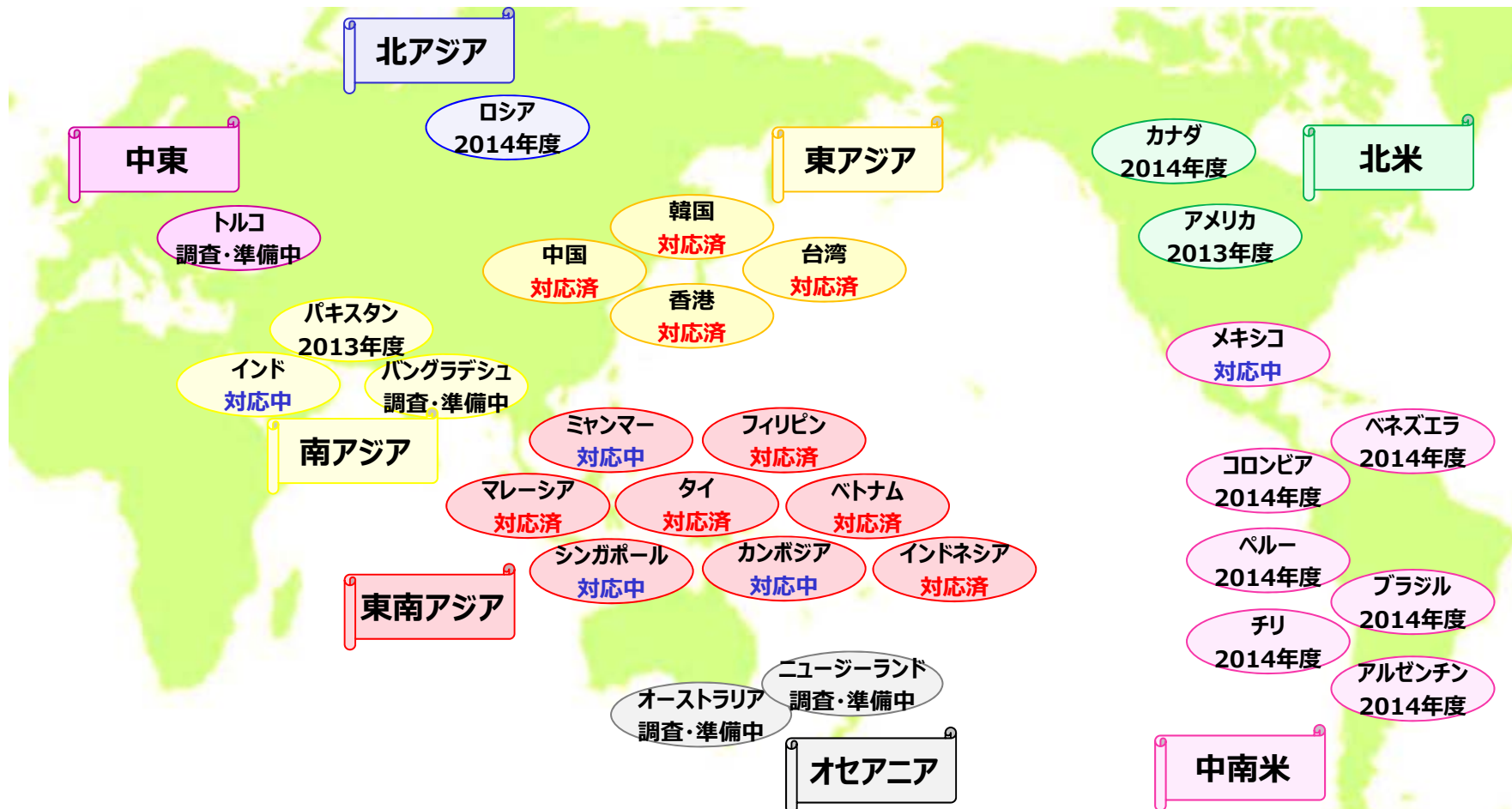
- ・ 賃貸借契約管理システムのWeb版へのバージョンアップ
- ・ クラウド&スマホで利用できる現物管理システム
- ・ グローバルロードマップの推進

◆ 開発生産性向上による低原価を維持

- ・ システム導入及び開発時の品質向上
- ・ 開発テスト工程の自動化、テンプレート利用を通じた原価の更なる改善

ProPlus 固定資産システムグローバルロードマップ

上期5カ国を加え、9カ国の現地の税制に対応済み
グローバルでワンシステムでの管理を実現

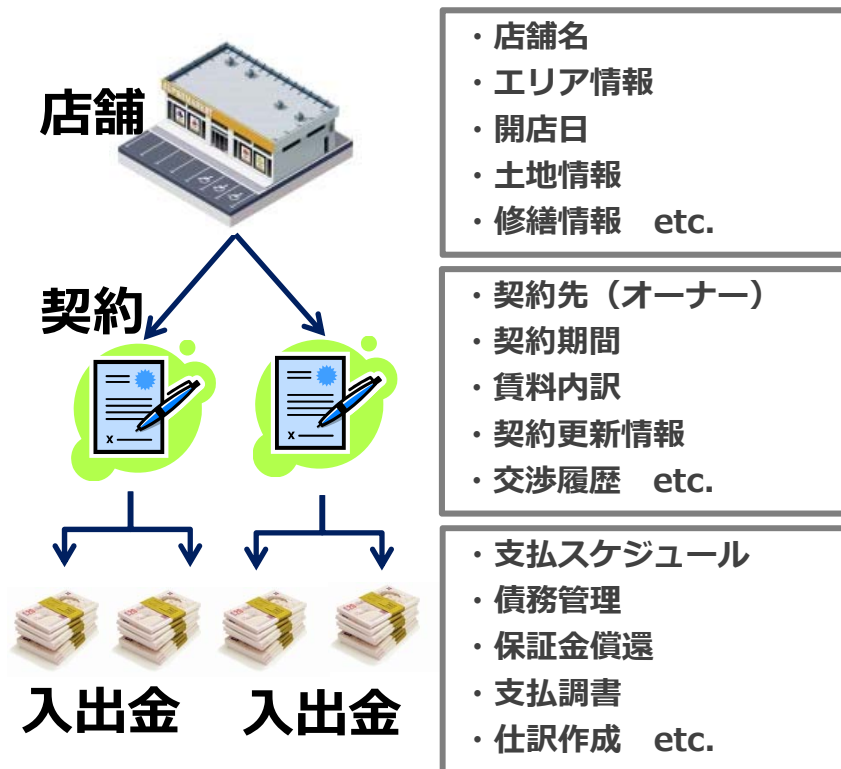


※本内容は、予告なく変更される場合がありますので、予めご了承ください。

賃貸借契約管理システムの新バージョンリリース

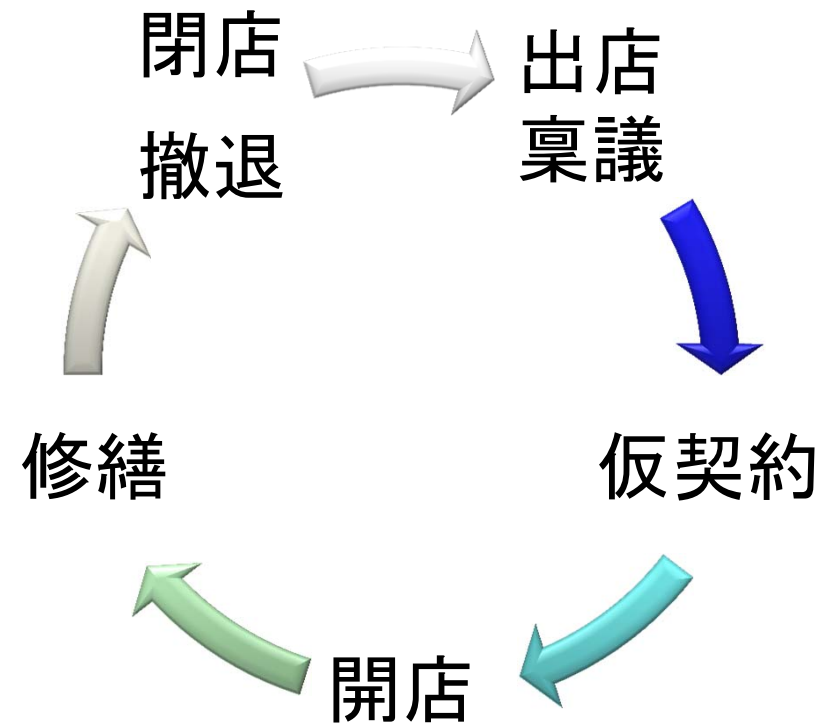
店舗を軸としそれに関連する契約・入出金などの情報の一元化を行い、各部署毎に必要な情報の見える化と契約管理・支払業務の効率化を実現します。

店舗毎に複数の契約・支払を管理



1店舗に対しN契約・取引先の管理が可能！

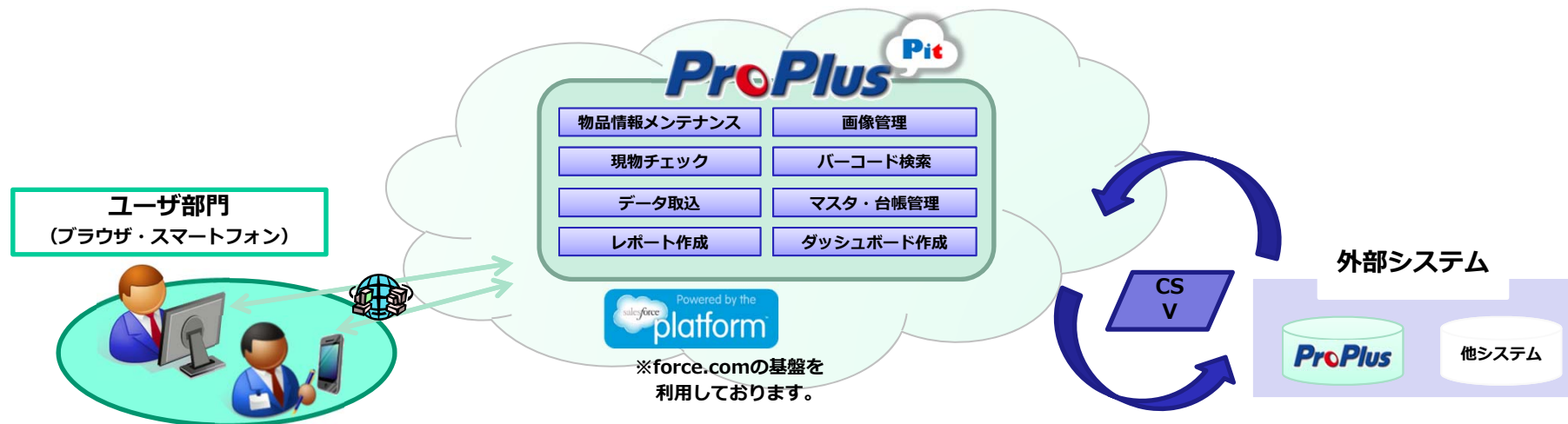
店舗のライフサイクルを管理



出店稟議～撤退までのライフサイクル管理が可能！

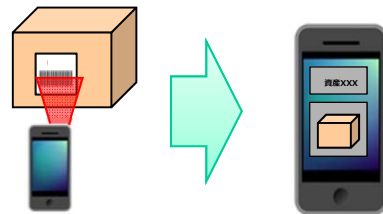
現物管理システム **ProPlus** Pit リリース

企業の保有する物品(資産や備品)の現物管理、棚卸業務を行うアプリケーション・パッケージです。物品情報の更新、画像のアップロードをスマートデバイスからリアルタイムで行うことができるため、物品の使用状況、保管状況をより正確に把握することができます。



スマートフォンをピッとラベルにかざすだけ！ 画像情報と突合して簡単に棚卸！

既存の資産ラベルにカメラをかざすと現物確認が完了します。画像を見ながら現物チェックができるため、資産の特定が容易です。



クラウドでのサービス提供により、 安価でスピーディなシステム導入を実現！

クラウド型ソリューションのため、お申し込み後すぐにシステムをご利用いただけます。初期費用を削減できるだけでなく、システムの改修コストも不要です。



2014年3月期 業績予想

- 固定資産管理ソリューションの既存顧客へ新バージョン展開
- 新ソリューションをテコにした新規顧客の獲得
- 要員の増強、チーム編成の見直しによる開発体制の強化
 - ・ 好調な引合を背景にした受注高の回復により、下期の売上高の増加を見込む
 - ・ 新ソリューションリリースに伴い、研究開発費を下期は減少させる計画

(百万円)	2013年3月期 実績	2014年3月期 計画	増減額	増減率
売上高	3,429	4,500	1,071	31.2%
営業利益	831	1,100	269	32.4%
経常利益	838	1,125	287	34.2%
経常利益率	24.4%	25.0%	-	-
当期純利益	562	675	113	20.1%

2014年3月期の配当政策

◆ 配当額の決定方針

株主還元については、自己資本の充実と収益力の向上を図るとともに、
配当性向30%を基本として、積極的に株主への利益還元に取り組む

2014年度3月期 1株当たり70円を予定

1株当たり配当額

(円)	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期 (予想)
配当金額	60	60	60	70	70
配当性向	47.1%	37.1%	35.5%	45.1%	37.6%

※中間配当は実施していません。

本日はありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社プロシップ 管理本部

TEL : 03-5805-6121

Mail : kanri@proship.co.jp

HP : <http://www.proship.co.jp>

本資料に掲載されている情報のうち、今後の業績予想・見通しなどの将来に関する情報は、その時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。従いまして、実際の業績等は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。